

さる7月の某日某所、「近畿宮崎県人会」が開催されました。家業の豆腐屋を継ぎたくなくて宮崎を飛び出した私(>\_<)なので、若い頃はこの手の行事には参加していなかったのですが、40代の後半になって、私自身の20代半ばのある事件?を思いだし、恩返しの気持を込めて、故郷宮崎に関する催しにはわりと積極的に参加するようにしています。



その事件は、大阪市住吉区での独身一人暮らしのサラリーマン時代の話です。ある早朝私の未熟な運転で、駐車していた車に追突事故起こしたことがありました。車の持ち主らしい家の呼び鈴をドキドキしながら鳴らすと、巨漢のおっちゃんが、怪訝そうに出てきました。

「朝から何やねん？」

「実は・・・」

ドキドキしながら私がお詫びを申し上げて免許証を提示したところ、私の本籍が宮崎県になっているのを見つけたそのおっちゃんが、突然柔らかい表情になったのです。

Oh!  
宮崎!?

「お、なんや兄ちゃん宮崎から来たんか？宮崎の人はいい人ばかりで、よ～世話になってるんや。こーんなキズは、カスリ傷みたいなもんやんか。にいちゃんは、なんで逃げんかったんや？やっぱ宮崎の人はそんな人ばかりやなあ..」って収めてくれたことがありました。

私は、会ったこともない「宮崎の人」に助けてもらったのです。(-\_-;)



『割れ窓理論』という米国の心理学者が提唱した理論があります。

- ①建物の割れた窓ガラスを放置しておく、無秩序な地域と思われる。
- ②ゴミのポイ捨て等の軽犯罪が増え、さらに環境悪化を招く。
- ③モラルが低下し、凶悪犯罪も増え始める。



1990年代に当時のジュリアーノN. Y市長は、割れ窓理論を応用しての治安対策に乗り出し、地下鉄の落書き防止や未成年者の喫煙防止の徹底等で、N. Y市は犯罪が激減したそうです。

逆もまたしかりです。

前出の巨漢のおっちゃんは、お世話になっている人と私が同郷というだけで、私をいい人(-\_-;)と思われたわけです。きっと、おっちゃんにとって宮崎の人は、割れた窓ではなく、美しい大切な窓だったのでしょ。

ただ改めて考えると、私にはラッキーなことではあったのですが、怖いことでもあります。つまり、世間は、身近な人を通してその人の背景にあるモノまで、「いいか悪いか」印象づけてしまうということです。会社であれば、一人の社員という「窓」を通して、その人が属する会社や、別人格であるはずの他の社員までも印象づけてしまうということになります。あの宅急便のヤマト運輸の社訓に、「ヤマトは我なり」とあることを思い起こします。皆さんの会社の服務規律も、それを具体的に明示化したもので、大切なものなのです。

柿野さんの家族はみんな太ってるの？



ちなみに前出の私の事故の話ですが、実は事故の前日会社の先輩からいただいた車でした。ありがたくも年期のはいった車は、相手方の車の傷と違い、大きく破損していました。なので、実は逃げようと思っても逃げられなかったのです。(-\_-;) 全然いい人ではなかった私は、それ以来車の運転を止めました。宮崎県人会の参加は、故郷の方言に触れることができ私自身が楽しいことはもちろんですが、飛び出した故郷と宮崎の方へのささやかな感謝と応援のつもりでもあるのです。(>\_<)